

試合番号 : 471	試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数 : 1,109		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 14:01	試合時間 : 02:01		
主審 : 明井 寿枝	副審 : 伊藤 薫			
日立Astemoリヴァーレ	通算 4勝 0敗 ポイント: 12	23 第1セット 25	埼玉上尾メディックス	通算 1勝 4敗 ポイント: 3
監督コメント 埼玉上尾のブロックディフェンスが素晴らしい。オフェンスで苦しむ時、間帯が多かったですが、日立Astemoの選手たちは自分たちでコミュニケーションを取りながら、我慢強く最後まで戦い抜いてくれました。苦しいところをホームのファン、サポーターの方々には押ししていただき、熱い応援をありがとうございました。VCupを通してチームは少しずつ成長できていると思います。来週のゲームに向けて、さらなる成長を目指して頑張ります。引き続き応援よろしくお願いいたします。	3	25 第2セット 19	1	監督コメント 本日もたくさんのご声援ありがとうございました。もがきながらも1%の成長を目指して、最後の1点までファイトしてくれた選手たちを誇りに思います。日立Astemoの粘り強いレシーブと高いブロックに対して、得点できずに苦しい時間が続きました。しかしながらその苦しさを受け入れて、解決策を見出そうとする選手たちは立派でした。この敗戦を更なるレベルアップの糧にしていきます。レギュラーラウンド、ファイナルステージに引き続きVCupでも熱いご声援をありがとうございました。
		25 第3セット 22		
		25 第4セット 13		
		第5セット		
		要約レポート 第1セット、埼玉上尾メディックスは山中の連続ブロックからリードを奪う。日立Astemoリヴァーレは苦しい展開が続くが、終盤に野中、長内、高間のスパイクが決まり追いつく。接戦となったが、埼玉上尾が仁井田のサービスエースでセットを取った。第2セットも序盤から埼玉上尾が権田のスパイクなどが決まり勢いに乗る。日立Astemoはセッターを境に替えて流れを取り戻す。中盤以降、野中のスパイク、境のブロックで点差を広げた日立Astemoがセットを取り返した。第3セット、埼玉上尾は目黒のサーブで崩し、連続得点につなげる。追いつきたい日立Astemoは入澤、タツダオの速攻で追撃し、またしても終盤に追いつく。日立Astemoはそのまま埼玉上尾を振り切り、第4セット、日立Astemoは粘り強いレシーブから、入澤、タツダオのブロックや高間のスパイクがテンポ良く決まる。反撃の糸口を見つけた日立Astemoは、仁井田、佐々木、目黒が力強いスパイクを打ち込むが、得点にはつながらず。最後は雑賀のサービスエースで日立Astemoが勝利した。		

試合番号 : 472	試合会場 : ひたちなか市総合運動公園総合体育館	観客数 : 1,109		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:26	試合時間 : 01:26		
主審 : 饗庭 和恵	副審 : 慈眼 雅啓			
NECレッドロケッツ	通算 2勝 3敗 ポイント: 7	22 第1セット 25	デンソーエアリービーズ	通算 3勝 0敗 ポイント: 9
監督コメント 序盤にサーブとオフェンスでリズムよく戦っていましたが、デンソーのトランジションアタックの数字を落とすことができず、追いつける展開が多くなってしまいました。また、私たちが取りたい場面で1点を取りきることができず、相手の流れを断ち切ることができなかったことも反省です。選手たちはどんなときもコミュニケーションを絶やさず、前向きに戦ってくれました。会場にお越しくださった皆さんの応援も、すごく私たちの力となり、戦い続けることができました。シーズンを通じてどんなときも私たちの背中を押してくれた、クルーの皆さんに感謝をしております。本当にありがとうございました。引き続きNECレッドロケッツへの応援をよろしくお願いいたします。	0	22 第2セット 25	3	監督コメント リーグチャンピオンとの対戦ということもあり、チャレンジ精神を持って挑めた試合でした。終始、気の抜けない展開でしたが、選手全員が個々の役割をしっかりと果たし、デンソーらしいバレーボールができた勝利と思います。来週はホームゲームということもあり、ファンの方たちと共に勝利を目指したいと思っております。本日もありがとうございました。
		18 第3セット 25		
		第4セット		
		第5セット		
		要約レポート 第1セット、序盤、NECレッドロケッツは佐藤のアタックや連続サービスエースでリードする。デンソーエアリービーズは、ロザマリアが得点を重ねて追いつく。終盤もつれた展開となったが、デンソーは山口のサービスエースで勢いづき、ロザマリアの得点を先取した。第2セット、デンソーはロザマリアが得点を重ねてチームを勢いづける。NECは上野や野嶋のブロード攻撃を絡めながら、佐藤やアチャラポンが粘り強く攻撃して追いつける。しかし、デンソーはNECの反撃をねらって、リードを守ってセットを取った。第3セット、何となくでもセットを取りたいNECは守りで粘りを見せる。しかし、デンソーは要所でロザマリアが得点を奪い、粘るNECを振り切って勝利した。		

試合番号 : 473	試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)	観客数 : 1,237		
開始時間 : 12:00	終了時間 : 13:35	試合時間 : 01:35		
主審 : 弘中 秀治	副審 : 千代延 靖夫			
久光スプリングス	通算 2勝 2敗 ポイント: 6	25 第1セット 18	東レアローズ	通算 1勝 4敗 ポイント: 3
監督コメント 選手・スタッフ全員で雰囲気作りも含め、試合前からしっかり準備した。相手にリードされる場面もあったが、なんとか耐え、試合後半で自分たちのバレーボールを少しずつ展開することができた。また、今シーズン最後のホームゲームということで、ファンの皆様の前で勝ち切ることができて、嬉しく思う。まだまだ改善することは多いが、良かった点と改善できる点をしっかり整理して、来週も良い準備をしていきます。2日間のホームゲーム神戸大会、たくさんのご声援ありがとうございました。	3	25 第2セット 20	0	監督コメント 課題としていたゲームの入りとサーブレシーブの返球が良かった時の攻撃は、機能させることができた。しかし、久光スプリングスの強いサーブで崩され決めきれずに、中盤以降に離されてしまったので、苦しい時に我慢して戦っていただけようになります。本日も応援ありがとうございました。
		25 第3セット 20		
		第4セット		
		第5セット		
		要約レポート 今シーズン最終のホームゲームで勝利を飾りたい久光スプリングスと東レアローズの対戦。第1セット、久光は中島や北窓の強烈なスパイクで点数を重ね12-10とリードした。これに対し、東レは深澤のスパイクなどで粘りを見せるが久光にリードを広げられる。波に乗る久光が第1セットを先取した。第2セット、久光は中川の巧みなフェイントや、カムランマークのブロックでリード12-6とした。東レは西川のスパイクなどで徐々に追いつくが、久光は中島、大竹のスパイクやサービスエースの活躍もありセットを取った。第3セット、序盤は一進一退の展開となる。このままでは終われない東レは深澤や西川の強烈なスパイクなどで食いつく。しかし、久光は中島やカムランマークのスパイクが連続で決まりリードする。最後は粘る東レを振り切り、セットカウント3-0で今シーズン最後のホームゲームを勝利で飾った。		

試合番号 : 474	試合会場 : グリーンアリーナ神戸 (神戸総合運動公園体育館)	観客数 : 1,237		
開始時間 : 15:00	終了時間 : 16:16	試合時間 : 01:16		
主審 : 佐々木 伸子	副審 : 西山 尚幸			
岡山シーガルズ	通算 4勝 0敗 ポイント: 12	25 第1セット 21	プレステージ・インターナショナルアランマーレ	通算 0勝 4敗 ポイント: 1
監督コメント 第1セットはスタートの堅さから受け身になり、アランマーレの頑張りの中盤まで押し切られた。前の試合まで出番の少なかったベテランが落ち着きのあるプレーを展開してくれセットを取ることができた。決勝大会にプレステージがかかった試合であったが、第2・3セットはスムーズに試合を進げることができた。反省すべきは決められる場面での決定力の足りなさで、最後のホームゲームまでに修正し、悔いのない戦いで締めくくりたい。引き続きご声援のほどよろしくお願いいたします。本日は多くのご声援をいただきありがとうございました。	3	25 第2セット 17	0	監督コメント 苦しい戦いが続いているが、ホームから遠い西の地で熱い声援を頂きありがとうございます。第1セット、これまで取り組んできたことが上手く機能しリードする展開でしたが、岡山シーガルズの粘り強さに少しづつ追いつかれ逆転されてしまいました。第2セット、方向性を変えて臨みましたが上手く回らず、終始相手のペースとなっていました。第3セット、自分達のやるべきことを再確認して入りましたが、相手の粘りあるプレーに我慢できず、流れのままに試合を終る形となってしまいました。VCupも、残り1試合となりました。最後までアランマーレらしく戦えるように臨みたいと思っておりますので、ご声援よろしくお願いいたします。
		25 第3セット 16		
		第4セット		
		第5セット		
		要約レポート 岡山シーガルズとプレステージ・インターナショナルアランマーレの対戦。第1セット序盤、アランマーレは岡村や木村の強烈なスパイクで点数を重ね12-8とリードする。岡山は中本や小松原のスパイクで応戦する。中盤、セッターを宮下に代えた岡山は19-19と追いつくと、佐伯の強烈なスパイクなどで一気にリードを広げ先取した。第2セット、アランマーレは有村のキレのあるスパイクやサービスエースでリードする。これに対し岡山は、粘りのあるレシーブからの金田、佐伯の強烈な攻撃で12-8と逆転した。中盤以降も佐伯の高いスパイクが連続で決まるなど、リズムに乗った岡山がセットを取った。第3セットもリードを続ける岡山に、アランマーレも繋ぐバレーで粘りを見せるが、岡山の高いスパイクやブロックを攻略できず、セットカウント3-0で岡山が勝利した。		